

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	脳波ウェーブレット変換と深層学習による蘇生後脳障害の評価法の開発
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2020年1月1日から2025年12月31日の間に心肺停止蘇生後脳症のため、救命救急センターもしくは集中治療室に入院して治療を受けた患者さんが対象です。
③概要	<p>本研究は、蘇生後脳症（心臓や呼吸が停止した患者さんの脳に生じる障害のことです）の患者さんの脳波データを用い、人工知能を使って脳障害の重症度を評価する手法を開発することを目的とした研究です。本研究の対象となったみなさまは、治療のために全員が脳波検査を行っています。その脳波検査のデータを利用させていただきたいと考えております。もし、本研究で情報を利用してもらいたくないとお考えでしたら、ご遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた方の情報は利用しません。また、お申し出いただいたことで今後の診療に不利益が生じることも一切ありません。</p>
④申請番号	2023-0058
⑤研究の目的・意義	<p>蘇生後脳症で入院なさった患者さんに脳波検査を行うことは診療ガイドラインでも薦められており、当院でも全員に行っている検査です。しかし、脳波検査の結果を正確に解釈することは専門家でも難しいというのが現状です。そこで、人工知能を使って結果を正確に解釈することができないかと考えました。もし脳波検査から脳の障害の程度を正確に評価できるようになれば、蘇生後脳症の患者さんの治療を、さらに良いものに改善することができるようになります。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>入院中に計測した脳波検査のデータと、その後の経過の情報を突き合わせて利用します。脳波検は数値データに変換されています。その脳波数値を用いて解析を行います。具体的には、コンピュータを用いて患者さんの入院後の経過を脳波の数値から正確に予測できるかどうかを検証します。研究の結果得られた成果は学会や学術雑誌で報告しますが、解析の結果のみを報告するため、個人が特定されるようなことは一切ありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>利用するのは診療のために行われた脳波検査の結果です。その他、年齢、性別、体重、併存疾患（もともとお持ちの病気の情報）、症状、入院後の経過といった情報を取得しますが、個人が特定されるような情報（お名前やID、入院した日付など）は一切利用しません。</p>
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学のみで利用いたします。 新潟大学医歯学総合病院 集中治療部 講師 本田博之</p>

④試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 集中治療部 講師 本田博之
④お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学院 集中治療部 氏名：本田博之 Tel：025-227-2328 E-mail：hiroyukihon.fi3@nuh.niigata-u.ac.jp